



須恵阿蘇釈迦堂

木造天部形立像
(二天王立像)

木造毘沙門天立像

木造毘沙門天立像
(二天王立像)

勝福寺仁王門

議会だより



あさぎり



[あさぎり町議会](#) [検索](#)

通年議会
第6回会議

一般会計補正予算

原案通り可決 2P

一般質問に12人が登壇 6~11P

第2回中学生議会 12~13P



「ほとけの里と相良の名宝一人吉球磨の歴史と美」展 (熊日新聞より)



山上八幡神社社殿

総額

1,701万1千円を追加し

100億4,015万2千円を可決

第6回会議が12月8日から11日までの4日間の日程で開催されました。条例の制定・改正4件、平成27年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、人権擁護委員の推薦、議員提出議案などを審議し、全て可決した。

一般質問には12名が登壇し、施策や行政課題など執行部の考えを質した。

主な内容

- ・ ふるさと基金積立金……………801万円 増
 - ・ ふるさと寄付お礼品……………354万円 増
(ふるさと納税額は、現在2,500万円、増の見込み)
 - ・ 障害児通所支援費……………1,233万8千円 増
(通所者の増により)
 - ・ 青年就農給付金……………652万8千円 増
(個人4名・夫婦1組)
-
- ・ 国民健康保険特別会計……………3億1,080万8千円 増
 主なもの 保険財政共同安定化事業拠出金……………3億223万3千円
 - ・ 介護保険特別会計……………419万4千円 増
 主なもの 介護サービス等給付費負担金……………339万5千円
 - ・ 簡易水道事業特別会計……………139万4千円 増
 主なもの 消費税……………139万4千円
 - ・ 下水道事業特別会計……………247万円 増
 主なもの 修繕料として……………247万円
 - ・ 上財産区特別会計……………58万3千円
 主なもの 費用弁償……………1万8千円
 消費税……………56万5千円

表紙説明

あさぎり町

- しょうふくじ 勝福寺関連文化財
- すえ あ そしや かどう 須恵阿蘇釈迦堂
- やまのうえはちまんじんじゃ 山上八幡神社

勝福寺は相良氏入国以前の在地豪族の菩提寺ながら、相良氏による保護を受け続けた寺院。

在地豪族の須恵氏が創建し、相良氏代々が保護した。釈迦三尊像が民衆に大切に守られ続けている。

戦国時代に滅ぼした上村氏を供養するために、安土桃山時代になり相良氏が建立した神社。

Japan Heritage

日本遺産認定

～日本でもっとも豊かな隠れ里-人吉球磨～



審議内容の抜粋

あさぎり町立小学校運動部活動社会体育 移行検討委員会設置条例

問 ふれあいスポーツクラブあさぎりを代表する者、中にはジュニアスポーツの代表も含まれているのか。

答 野球のあさぎりガッツ等は含まれませんが、バレーボールの代表は含みます。

問 子どもに主眼を置いたところの環境整備、午後4時半以降の時間帯になるので、委員会のメンバーの選出に当たっては、精通された方で構成して頂き、委員からも建議ができるような内容の整備をして頂きたい。

答 委員会の中に一番関係のある保護者の代表、ふれあいスポーツクラブの代表、スポーツ推進員、色々吟味しながら委員さんをお願いしたい。

問 委員20名となっているが、ややもすると男性だけの委員になると思うので、女性の参画もお願いしたい。

答 充分配慮しながら委嘱をしていきたい。



練習に励む子ども達

TPPの国会批准に向けた慎重な審議と 万全な国内対策に関する意見書を決議

- 1 衆参農林水産委員会の国会決議との整合性について徹底した検証と国民への十分な説明および国会承認に向けた審議過程の情報開示を行うこと。
- 2 関税撤廃・削減による農家の所得減少や新たな負担を強いられることがなく、安定的な農業経営が継続可能となるよう、予算の確保をはじめ万全の国内対策を講じること。

第6回会議 表決一覧 (抜粋)

議案名	議員名	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	徳永	豊永	山口	永井	皆越	小見田	奥田	田原	溝口	久保田
あさぎり町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町介護保険条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町立小学校運動部活動社会体育移行検討委員会設置条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町税条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度あさぎり町一般会計補正予算(第3号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「ヘイトスピーチ対策について強化策を求める意見書」について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書」について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「TPPの国内批准に向けた慎重な審議と万全な国内対策に関する意見書」について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

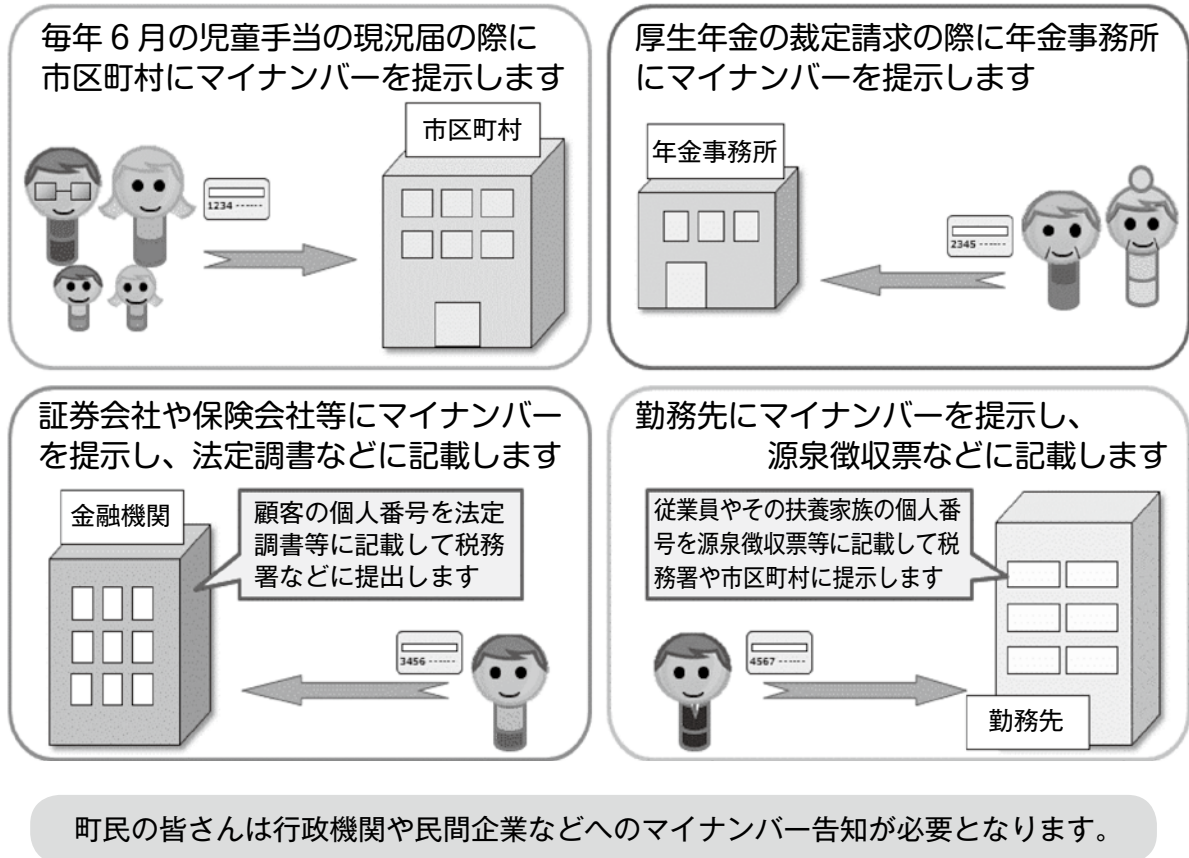
条例の制定及び改正

抜粋

議案第 33 号

あさぎ町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、本条例を制定する必要があるため。



議案第 34 号

あさぎ町介護保険条例の一部を改正する条例の制定

行政手続きにおける特定の個人を識別するため、番号の利用等に関する法律の施行に伴い、本条例の一部を改正するため。

議案第 35 号

あさぎ町立小学校運動部活動社会体育移行検討委員会設置条例の制定

あさぎ町立小学校運動部活動の社会体育移行について、円滑な運営及び成果の確保を目指し、中立公正な立場で意見を求めるため、本条例を制定する必要があるため。

議案第 36 号

あさぎ町税条例の一部を改正する条例の制定

地方税法の一部を改正する法律に伴い、本条例の一部を改正するため。

ワクワクする町へ

あさぎり町議会議長 橋爪 和彦

新年明けましておめでとうござ
います。

皆様には、輝かしい年をお迎
えのことと、あさぎり町議会を
代表いたしましてお慶び申し上げ
ます。

さて、昨年は、「地方創生」と
いう国の強い意向を受けて、本町
も「地方人口ビジョン」及び「地
方版総合戦略」の策定に取り組み
ました。今年から、人口減に歯止
めをかける動きが本格的に始ま
ります。

4月には、人吉球磨地域が、「日
本遺産」に認定され、町内の「山
上八幡神社」、「須恵阿蘇釈迦堂」、
「勝福寺関連文化財」も構成文化
財に入り、9月には、その勝福寺
の毘沙門天立像他2体が国の重要
文化財に指定されました。

数多くの文化財に豊富な自然と
農産物。あさぎり町には「地方創
生」の資源はタツプリアリです。

問題は進め方です。

即効性を期待せず、長いスパン
で、継続的に粘り強く進めること
が大事で、コンセプト(概念)は『ワ
クワク』だと、個人的には考えて
います。定住人口を増やすにも人
を呼び込むにも、先ずはそこに住
んでいる人たち自らがワクワクす
る環境を創ることです。「ワクワク
ク」する楽しいところなら、若者
達も残るし、Uターン・Iターンも
増えるでしょう。逆に、住んでい
る人達がワクワクしない楽しくな
い所に人は残らないし来てくれる
とは思えません。

本町議会の審議でも、ワクワク
する楽しい町づくりを資する計画
か否かをしっかり議論して貰いた
いと思っています。ただし、財政
規律を守ることだけは忘れずに！
年頭に当たり、皆さまのご健勝
とご多幸を心から祈念申し上げます、
ご挨拶いたします。



あさぎり町議会議員

12人が登壇

責任においてそのまま掲載とします。

問 住宅跡地の分譲は



奥田 公人 議員

奥田 岡原地区には町営住宅が撤去された住宅跡地及び、未だ住居しておられる住宅、一部撤去された跡地が混在する住宅団地が存在しているといった不思議とも思われる光景が見受けられる。町としてはどのように対応されるのか。
町長 現在町営住宅は、412戸の管理をしている。基本的には用途廃止を含め古いものから補修を行い、長寿命化に取り組んでいる。
建設課長 岡原地区の公営住宅の現状は9団地97戸あり、91戸については現在入居中です。9団地のうち5団地が今後用途廃止を行い、分譲する計画ですが、団地の中には撤去した跡地と、現在も入居されている住宅が混在している状況で分譲するとなると、ある一定の区画、面積が必要となる。分譲の条件が整った岡原小学校前の



分譲予定の齊堂地区・旧並木元団地

寺田団地1,074平方メートルを2つの区画に分筆し、今年度払い下げを行った。今後の計画では、齊堂区の旧並木元団地については、普通財産とし更地になっているので、約1,400平方メートルを3区画に区画割し、平成28年度で分譲の計画。その他の団地も条件が整い次第、随時分譲の計画。
◎その他の質問
剪定した樹木等のリサイクルは。

問 地域防災の整備・強化への取組みは十分か



森岡 勉 議員

森岡 地域防災計画において、必要な体制を確立し、災害の予防・応急対策及び復旧に万全を図り、町民の生命・身体及び財産を災害から保護するとしているが、最近の災害は、異常災害とか、異常降雨とか言いますが、地球温暖化現象により、異常ではなく通常の現象になっている。いつ発生するか判らない災害から町民の生命を守るためには、危険を速やかに察知し、直ちに安全な場所に避難誘導することとが東日本大震災等によって明らかになっている。よって本町において地域においても自分達を守る意識を高めるためには、今、以上の自主防災組織を充実して行くべきである。
町長 災害への対応は非常に大事であり、毎年の定期防災訓練を通じて町民の皆様さらに周知を徹底したい。
森岡 そのためには自主防災組織の更なる充実が必要であり、

組織の高度化を図るために防災士の育成の考えはないか。
総務課長 組織全体の活動の活性化につながるために今後も研修会は実施していく。
町長 自主防災組織については見直す部分がある。防災士も含め、組織機能が本場に推進するように検討していく。

ぼうさい11【防災士】
防災や救急法の知識・技能をもち、災害時には避難誘導や救助、避難所の世話などを行う人または資格。NPO法人日本防災士機構が認定する民間資格で、同機構が認証した研修機関が実施する防災士研修講座(自宅学習・会場研修)を受講・履修し、消防署や日本赤十字社など公的機関が主催する救急救命講習を受けて修了証を取得し、資格取得試験に合格した者に与えられる。合格者は同機構に資格登録を申請し、防災士台帳への登録を経て防災士として活動することが出来る。また、消火・救助・救急の実務経験のある消防官吏(OBを含む)と、日本赤十字社の赤十字救急法救急員の有資格者は、同機構への登録申請だけで防災士資格が取得できる。なお、登録後の有資格者の団体としてNPO法人日本防災士会がある。

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する。

※一般質問の文章については、質問者の

問 平成28年度予算編成方針の基本的な考え方は



山口 和幸 議員

山口 町政の基本は当然のことながら、財政基盤をしっかりととして、地域住民の方々の福祉の向上を図る為の歳出予算を編成しなければならぬ。そういう中で、町長・各担当課長の町づくりに対する思いがどれだけ強いか確認すると共に、平成28年度予算編成する基本的な考え方は。

町長 これまで公約に掲げたものでやれなかった分を検証して上げるとともに、町が確実に地方創生に向かって動きだしていると、伝わるような取り組みをしていきたい。

企画財政課長 合併算定替の特例が終わり、普通交付税の減少が見込まれ、財政的に厳しい状況下にあることは認識しなければならぬ。



のびゆく、あさぎり町！

らない。そこで安定した財政基盤の確立の為には自主財源である税収入の収納率の向上等に一層努めていくこととし、一方国が進める地方創生総合戦略の積極的な推進、町長公約の実現、議会からの提案・要望等を盛り込みながら「健康と幸福」をキーワードに平成28年度予算を編成していく。

問 駅前駐車場整備は



久保 尚人 議員

久保 あさぎり駅東側の土地を購入したいとの話だが、本当に駐車場は足りないのか。

商工観光課長 ポップー館の70名以上の催し79回と周辺イベント7回の時が不足する。

久保 一般財源で数千万円を使ってまで町の財産にするべきなのか。

有効活用の観点から、駅裏の町有地と駅をつなぐ踏切を作る方法で検討できないか。



あさぎり駅裏の町有地(斜線部)と駅東側の民有地(破線部)

久保 町長は経験上、議論の必要

町長 駅北側の町民には、混雑する南側に回らなくても、買物や送迎に便利だし、イベント時にも利用できる。

町長 一つの考え方として受けとめる。想定される場所については、色々意見を聞いて提案した。

性が1番分かってるはず。東庁舎の件では、町民との議論の場がなかったため迷走している。

同じ足を踏むことがないよう、事業の進め方には十分気をつけなければならぬ。

あさぎり町中心市街地活性化推進委員会設置条例により委員会を設置して、議論してもらうことが必要だ。

商工観光課長 民意が反映できる場にした。

町長 委員会で確認することについては何も問題ない。

問 TPP交渉大筋合意と今後の町の農政方針は

小見田 担い手の減少、高齢化で、非常に脆弱な基盤にある農業に、TPPの大筋合意がより拍車をかけ、農村社会の疲弊を懸念する。今こそ地方政治を担っている首長、議会の使命は重大であると考ええる。国、県に対して、十分な審議を行う事や、中長期的な農業政策の確立と提示を要望する事と、町独自の農業構造改革の策定を急ぎ、力強い体制づくりを行い、不安解消を図り若者が残れる施策を展開すべきと思うが考えは。

町長 危機感は当然持っている。TPPも紆余曲折はあつて



小見田 和行 議員



あさぎり町からのメッセージ

も決定され、国の方針が示された時、黙認する訳にはいかない。しかし、国に対して補助金等の要望はしていくが、それは日本全体で決まって分配されてくる話であつて、それより球磨郡あさぎり町で戦える農産物の品目の検討が大事であると考えている。

小見田 総合計画にTPP等の自由貿易協定を見据えて「営農支援センター構想推進」があるが、具体的には。

農林振興課長 法人化し、業務を広げていく。

◎その他の質問
鳥獣害防止策は。

問 生薬の栽培面積拡大への取り組みと加工場建設は



徳永 正道 議員

徳永 近年さまざまな医療分野において漢方薬の需要が高まりつつある。球磨、人吉においても平成19年度より薬用作物の三島紫胡の栽培に取り組んでいる。現在の球磨、人吉での栽培面積は39・6ヘクタール、栽培戸数も159戸と増加の傾向にある。先般、10月7日から8日にかけて、本町が計画している薬草加工場建設について委員会では生薬会社への視察研修を行った。国内の契約栽培団体主要拠点として北海道、岩手、群馬、和歌山、高知そして本町とこの6拠点の中に挙げているのを見ても、その期待度の高さがわかる。場所の問題、建設資金の問題等あると思うがこれ迄の動きと合わせて、面積拡大への施策は。

農林振興課長 28年度においては栽培面積は人吉球磨で51・2ヘクタール、

栽培戸数191戸と予定されている。加工場建設においては生薬会社の方から要望があつているので何とか実現に向けて動きたいと思つている。

徳永 将来的に見込みのある生薬栽培なので是非成功させてもらいたい。町の将来のあり方について指針が定まれば果敢に決断をして実行に移す事があると思う。

町長 議員さんにも力を貸して頂き、状況を報告しながら進めて行く。



現在の作業場(免田畜産センター)

問 廃プラスチック処理対策の推進は

橋本 廃プラスチックの処理対策を講じることによって、廃プラスチックは燃焼温度を上げると言われており、焼却炉の延命化や、石油消費削減、温室効果ガスである二酸化炭素の発生抑制、燃えるゴミの減量化を図ることができる。従ってごみ処理費負担金が削減されると思うが、どの様な考えか。

町長 やらなければならぬということとは私も一緒です。廃プラスチック処理を先行して進めている所の課題をしっかりと整理し、やり方については、先進事例等をよく見て判断していきたいと思う。

空家、空地の放置ゴミ等の処理は

橋本 所有者が亡くなったり、行方不明であったり相続権者がいない土地・建物にゴミが放置され、環境的に大き



橋本 誠 議員



廃プラスチック等中間処理施設(宇土市)

な社会問題となっている。これから人口減少が進めば、さらにこの様なことが多くなることが懸念される。町としての取組みをどの様にしていくか。

総務課長 国の特別措置法、町の条例化でかなりの調査が出来るようになったのは、ひとつの前進だと認識しているが、次のステップで課題が出ており、環境問題の解決に対応する時の、町の財政措置をどうするか、今からそういういった仕組みづくりを考える必要があると思っている。

問 移動図書館で地域の交流づくりを

加賀山 あさぎり町になり児童図書書の充実が図られた。しかし図書館の数や場所が限られていることで、住民が本に接する機会は減ったのではないかと。近隣では人吉カルチャーパレスや錦町に移動図書館がある。あさぎり町でも出来ないか。

町長 読書習慣を身につけ、良い本を読む事は大事な教育だ。

加賀山 本に親しむ事で学力アップにも繋がる。高齢者の方からは、「図書館に行ききらんことなれば本も読まれん」との話も聞いた。ボランティア等の協力的体制づくりも考えながら、まずは図書館のない上・須恵・岡原地区からでも検討できないか。例えば読み聞かせ等を通じて子ども達と高齢者との交流づくりにも活用してみてもどうか。



加賀山 瑞津子 議員



郡内での移動図書館の活用

教育課長 以前あった図書館事業は平成12年に廃止となった。今、町では小学校や施設を対象に「団体貸し出し」を行っている。今後もこうした取り組みを進めていきたい。

町長 移動図書館という枠にとらわれず読書環境について考える良い機会を与えてもらった。

◎その他の質問

○町の中心部や近隣町村との境界等に「健康幸福の町」をPRする看板の設置を。

○ふるさと納税の返礼対応の現状は。

問 TPP大筋合意の地元への影響は



永井 英治 議員

永井 11月、TPP交渉において大筋合意がなされたが、農林水産関係の

TPP対策の補正予算額約3千億円の詳細は分かっているのか。

農林振興課長 現在、新聞報道以外の情報は少ないが、農業農村整備事業にも別に1千億円がある事はわかっている。

永井 この大筋合意によって、

地元の農産物へ及ぼす影響を検討するべきと思うが。

町長 重点項目についてはあさ

ざり町独自でも調べていければと思うが、できればJAや県も含めた人吉球磨の広域の枠組みの中で検討していきたいと考える。

永井 薬草の加工場建設に向けた現状は。

町長 場所については民家から離れた場所が必要であるし金額も含めて課題があるが、薬草会社からはなるべく早くと求められているので、一つ一つ細かく検討しているのが現状である。



問 農産物に付加価値をつける加工施設が必要と思うが



小出 高明 議員

小出 今、農家が元気を出すには、何かに取り組む事だと思

う。県内で、カット野菜工場の話も聞くが、町内には農地も多く、今後は、水田裏作も含め、水田、畑地をいかに有効利用し、所得を上げ、経営を安定に持っていくかだと思う。以前、深田中学校跡地の農産物加工施設の話があったと思うが、現在はどうなっているのか。

町長 農産物を加工して付加価値をつけ、雇用を生み、出荷をする事は是非必要と思う。3年程前にJAに提案したが、まだ実現に至っていない。

小出 国産野菜を利用したカット野菜、業務用野菜は需要が年々増加傾向にある。始めから大規模ではなく、身の丈にあつ

た施設などから、とにかく取り組みを始める事が必要だと思うが。

町長 加工品の取り組みと、販路開拓を同時に進めるのは難しい。小規模な設備からでも、始める事が大事なことだ。

小出 農家の為になる加工施設が、あさぎり町において出来る事を期待したい。

◎その他の質問

ふるさと振興社の運営は。



水田裏作 加工用たまねぎ

問 東日本大震災、東松島市復興支援は



皆越 てる子 議員

皆越 ある事業所の10周年記念行事に頂いた小さなビニール袋、塩あめが5個入り、東日本大震災復興支援・塩あめで熱中症対策！として支援を！日本スポーツ団体熱中症対策推進会。継続支援を目的としてのご理解を。小さな文字に心惹かれ、町内でも継続性のある支援を実施され、義援金を町長に手渡されている姿。町としての取り組みは。

福祉課長 役場本庁舎、各支所、温泉施設、天子の菖蒲まつりに募金箱を設置したり、県老人クラブ、各種団体が取り組まれ、送金しておられる。

皆越 ある団体が、東日本大震災支援の取り組みとして、平成28年8月実施で、物品販売を父兄の方がされているようだが、町としての共催はどのような物か。

教育課長 翔成館剣道部創立10周年記念に合わせて、東日本大震災



支援活動の一部(田植と米の収穫)



災への支援招待として平成28年8月5日～8日に錬成大会の計画を伺っている。又この団体は東日本大震災後自分たちで作った米を毎年販売し被災地の方へ送金している活動もしておりますので、庁内でもできるだけ支援をしていく。

◎**その他の質問**
木製掩体壕保存は。

問 旧東庁舎売却・貸付の議案はいつ提案するのか



溝口 峰男 議員

溝口 旧東庁舎に(株)ナビック進出の協定書を県庁で交わしてから9ヶ月になる。議会に旧庁舎の売却に関する議案はいつ提案するのか。

町長 3月議会に提案する。

溝口 随意契約で売却を行うことは、自治法に違反しているのではないかと。旧庁舎敷地を貸し付ける場合、借地借家法の何条で契約をするのか。

総務課長 23条で検討しており貸し付け期間が来たら更地にして返還してもらうことになる。

溝口 更地にすることを企業ができない事を考えておくことが町民に負担をさせないことになる。建物解体費約6千万円を担保しておくことが重要ではないか。

町長 町としての持ち出しや支援を直接やることはない。



11月7日～8日 郡小小学生ソフトボール大会
旧東庁舎裏の駐車場

溝口 本町には財産処分等の条例が整備されていないから問題が起こる。条例の制定や随意契約のガイドラインも作成することが職員も仕事しやすいのではないかと。

総務課長 例規関係の整備をする必要性は感じている。

溝口 議会自ら提案することも考えていく。

学生会議



あさぎり町議会活性化委員会(全議員構成)の企画で、自分たち自身やあるいは自分たちの家族の生活が町政と直結していること、町政を身近に感じること、町政に関心を持ってもらうことを目的に、2回目の中学生による1日議会が開催され、議長に、松本愛理さん、会議録署名議員の指名に、國政樹君、古賀伽椰野さん、渋谷侃弥君を指名し、一般質問に14人の生徒が登壇し町の執行部に対してさまざまな角度で質問しました。



議長あいざつ

3番 愛甲 優佳
教育課長
外国人比率やコミュニティについて
 外国籍の方とのコミュニティづくりでは、あさぎり生活ガイドブックをつくる必要があると考えている。外国人が相談できる窓口があれば便利と思います。

2番 中村 ももこ
企画財政課長
固定自立圏構想について
 あさぎり町版総合戦略の策定を進め、その中で町として、健康と幸福をキーワードに、体に優しい作物の栽培などによる新たな食文化の創造、若い世代が安心して子育てできる環境づくり、あさぎり町に住みたい、住み続けたいと思えるような取り組みを進めていく。

1番 山崎 淳史
企画財政課長
あさぎり町の標語への思いと取り組みについて
 若い町とは、若者定住、気持ちの豊かな町、生活の質が豊かな町。夢ふくらむ町とは、町づくりの多様な夢を思い切り描くことができる。取り組みは、個々の産業が連携し、町の産業全体の活性化。町民が健康的に生活でき、ともに生き共に支える地域づくりを目指します。

10番 藤本 芽生
町長
医療費の手続きについて
 小学校まで無料化したとき、お金を全然やりとりしなくていい様にしたが、子供医療費が増加したので、一旦、病院で支払う事により、医療費を抑制しそのかわり、中学校までの医療費を無料化した。今後の課題としては、病院と話し合い、一旦病院で支払後、預金通帳に戻るシステムを考えてみたい。

9番 前田 悠汰
建設課長
空き屋対策について
 一軒一軒どこに空き家があるかを今調べている。基本的に、所有者に管理してもらうが、取り組みがない時は、法律的に町で取り組む事も可能。財政的な課題もあり、活用策(ポットパーク等)についても検討する。

8番 宮崎 彩乃
商工観光課長
日本遺産について
 日本遺産、文化財を活用して観光振興につなげていくために、今現在観光振興計画を策定中です。おかげで幸福駅を観光の入り口として、町のいろんな文化財、自然環境を利用した場所に誘致していきたいと考えております。

7番 万江 有貴
企画財政課長
ふるさと納税について
 今年の4月より寄附をした方に、あさぎり町の特産品等をお返しする事業を始めました。寄附金の使い道は、産業振興等のまちづくり等に使われています。

第2回中



議長 松本愛理さん

あさぎり町第2回中学生議会議員

議席	氏名
1番	山崎 淳史
2番	中村 ももこ
3番	愛甲 優佳
4番	水本 莉亜奈
5番	倉元 遊海
6番	池上 友梨
7番	万江 有貴
8番	宮崎 彩乃
9番	前田 悠汰
10番	藤本 芽生
11番	蓼田 真央
12番	三好 彩夏
13番	平田 青空
14番	小見田 惠未
議長 松本愛理	
会議録署名議員	
樹野 弥	國政 樹
加野 弥	古賀 弥
谷 侃	茨 侃



町長答弁

6番 池上 友梨
園 保育園の民間委託について
福祉課長
 町立保育所を民間化することにより、経費の削減を目的としたものでなく、民営化は民間活力を導入することによって、保育所を必要とするすべての子供たち・保護者へ、安定的に良質な保育サービスを提供し、地域に根差した保育所へ進化していく、これが1番の目的と思っております。

5番 倉元 遊海
園 条例について
総務課長
 皆さんに直接関係する中学校は何か根拠で中学校があるかという点、あさぎり町立小中学校設置条例や、あさぎり町スクールバス条例あるいはスクールバスの運行規則によって、スクールバスが動いています。奨学金の貸与条例は、高校あるいは大学と行かれる場合に、奨学金を借ることもできます。

4番 水本 莉亜奈
園 道路整備安全対策について
建設課長
 町が管理する道路が、約700路線、総延長が約480キロ。未整備の道路については、今後整備する必要があるが、工事費用が多くなるというところから、通学路・交通量それから、歩行者が多い道路を優先的に整備する計画です。

14番 小見田 惠未
園 バイオマス事業について
福祉課長
 木質チップや木質ペレットを燃やして温泉水、シャワーの水を温めるのがバイオマスボイラー。一般的には二酸化炭素の削減の効果があり、燃料コストの削減、地域の活性化、林業の活性化につながると言われている。

13番 平田 青空
園 地方財政について
企画財政課長
 町民1人当たりのプラスの費用または借金について、平成26年度末で積立金が約1人当たり49万円、借金が約73万円となっております。

12番 三好 彩夏
園 1ターンのJターンについて
商工観光課長
 人口減少対策の中で移住の推進があり、Uターンも含め、現在策定中の総合戦略の中で、移住の受け入れ計画の取り組みは、28年度から本格的に取り組みむこととなります。

11番 蓼田 真央
園 駅前の開発活性化のイベントについて
商工観光課長
 5年間で2億3,800万ほどかかっている。6月の花菖蒲祭り、8月の夏祭り、9月の夜市、11月の後半ウィンターライトフェスティバルの点灯式。最小の経費で最大の効果というような部分を考え、できるだけ住民の方がその祭りに参加できるように方向で考えていきたい。

一部事務組合及び常任委員会報告

公立多良木病院企業団議会



11月30日、第5回定例会が召集され、平成27年度、病院事業、介護老人施設及び健診センター事業、介護老補正予算、上球磨地域包括支援センター特別会計補正予算の2件を審議し、いずれも原案通り可決された。又、企業長より、医師招聘活動の状況、第1回健康フェスタの開催報告等があった。

人吉球磨広域行政組合議会

11月27日午前10時より人吉球磨クリーンプラザ大会議室にて、第4回定例会が開催され、一般会計及び特別会計3件の平成26年度歳入歳出決算認定については、決算特別委員会委員長から審議結果についての報告があり、原案のとおり認定された。平成27年度一般会計補正予算他3件についても、原案のとおり可決された。



人吉球磨クリーンプラザ

上球磨消防組合議会

第2回定例会は、12月3日に召集され会期1日で開催された。平成26年度一般会計決算を認定し、補正予算第1号で26年度決算で生じた余剰金の一部4,992,000円を町村へ返金(あさぎり町は2,445,000円)する為負担金の減額で調整し、専決処分を承認した。同組合の行政手続条例、個人情報保護条例、火災予防条例の一部改正の3議案を原案通り可決して閉会した。

厚生常任委員会

11月27日、午後2時より、保育所の民営化について、移管先決定後の経過と現状について調査を行った。福祉課より、移管先の決定を踏まえ保護者説明会や職員の説明会、また行政上の手続きなども、これといった問題もなく推移しているとの説明を受けた。それぞれの委員からの質問の後、本委員会としては、それぞれ4つの保育所が民営化に向けて順調な経過を見ている事に対し、現段階では特段意見を言う事はないとした。

次に、温泉施設の方向性についての調査を行った。福祉課より、町内の3つの温泉施設の現状を、それぞれの収支や利用者数の時間帯別の調査の結果等、詳細な資料に基づき説明を



方向性が注目される2つの温泉施設

受け、現時点での今後の方向性の説明を受けた。委員からの質問や意見では、本日の説明では今後の方向性にまだまだあやふやな点が多く、納得できる方向性にはなっていないとの意見が多く出され、担当課としても、本日の委員会での意見を持ち帰り再度検討するという事で閉会をした。

総務文教常任委員会

○9月24日、26日
愛知県長久手市役所にて「市民協働によるまちづくりの取り組み」を研修。市民と若手市職員が次世代のまちづくりの担い手を育成する取り組みである。校区には地域共生ステーションが



長久手市・市民協働プロジェクト

設置され、集まった仲間と地域の課題と取り組みを学び課題解決に向けて目標を定め活動が展開されていた。市長の「まちづくり、まずは笑顔でこんにちは」のベストを率先して着用、アピールしている姿は職員や市民からも好感がもたれていた。

建設経済常任委員会

○9月16日(水)

所管事務調査

平成27年度橋梁補修工事箇所変更について。橋梁長寿命化修繕計画に基づき健全度の低い橋梁を選定して工事を予定していたが町道皆越線に架かる芋八重橋が危険度が高いと判断。委員会としては了承した。

○10月7日～8日

委員会視察研修

東京(株)ツムラ本社。茨城県ツムラ茨城工場。

○11月16日(月)

所管事務調査



ツムラ(株)茨城工場漢方記念館

議会報告会

議会活性化委員長 小見田 和行
議会の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めることと、議会の説明責任を果たし、これらの事項に関して町民の意見を聴取して議会運営の改善を図るために議会報告会を年1回、平成23年度より毎年開催し今回が第5回の報告会である。第4回までは全町民対象に参加者を募ってきたが、一般の町民の参加

が少なく、その反省を踏まえ活性化特別委員会で協議を重ねてきた。その結果試行ではあるが各種団体に議会から呼び掛けて報告、意見交換をやってみようということとで今回の運びとなった。町P連の方々には子育て真っ最中であり、町を支える原動力の中核をなす方ばかりであり、教育はもちろんな、町づくり全般について有意義な報告会となった。



町PTA連絡協議会の皆さんと議会報告会

議会研修

熊本県町村議会議員研修会

平成27年10月27日(火)
益城町文化会館ホール

「地方議会の課題とその活性化策」を演題に慶應義塾大学法学部教授片山善博氏の講演があった。片山氏は、元鳥取県知事(2期)、総務大臣(H10・9～H11・9)経験者で執筆活動にテレビ出演に活躍中である。

まず、地方議会の在り方として、自治体の中で一番重要なのは議会であり、それに応えられる議会にならなければならぬ。その為には、現状のままではなく常に議会改革を進めなければならぬ。そうでなければ住民の期待に応えない。常に住民が求める議会に



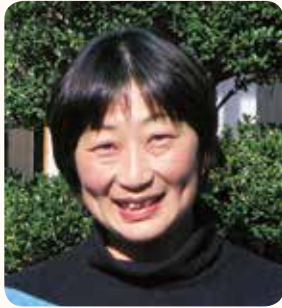
元総務大臣 片山氏

なっているか考える。議会制民主主義とは、徹底した議論をするこである。公聴会は国会では開いているが地方議会は開いていない。重要案件は、議会で条例化す

るのが望ましい。
地方創生については、今のままではうまくいかないのではないかと。何故なら過去の検証をやっていないし、過疎対策(過疎債)は半世紀余りやってきた。名称を変えただけではないか。本来、地方がやりたいことをやりやすいように地方分権改革を進めるべきではないか。個別の地域は個別の地域でやるもので、国が声をかけて(号令)やることではない。

TPP問題については全国各地方から意見書を提出すべきではないか提案があった。結びに、議会は決論有りきではなく、出来るだけ住民の声を聞くことが大事であることを力説され講演会を終えた。

私のひとり言



上 (永里)
尾方 真紀子

11月に行われたあさぎり町駅伝大会で、最初で最後であろう4人の名前入りのファミリー賞。子ども達3人の名前が並ぶ賞状を頂くことはおそろくないだろう。地元を離れ遠く県外へ就職していく次男の走る姿を見ることもなくなるのか、試走をする後ろ姿を見ながら涙が出そうだった。手が離れ、自立していく喜びとはうらはらに大きな寂しさが込み上げてくる。息子達から子離れしないとイケない時期がとうとうきてしまったのか…。しかしまだ中学1年の娘が残っていた。そう自分に言い聞かせながら、そして寂しがるじいちゃんばあちゃんを慰めながら、あと一緒に居られる時間を大事に過ごしておこう。

若い人が残ってくれるような魅力ある町づくり、そして若者が働ける企業や職場の増加を願い、何年後にか、あさぎり町にもUターン就職応援制度みたいなものができてくれることを期待して、あきらめの悪い母のひとり言でした。

成人にあたり思うこと



深田 (仁王)
椎葉 悠太

5ヶ町村が合併しあさぎり町が誕生して早10年程が経ちました。平成の大合併としてまた、モデル都市としてということでしたが、球磨地域で人口減少と共に少子高齢社会を程なくして迎えました。そのため本町でも若者が流失し地元に残り仕事をする人も年々減少しています。その中でどの様にしたら地域おこしが出来るか、一人でも多くの観光客を呼び込むことが出来るかを、議会だけではなく、町職員、町民が一丸となり取り組むべきだと感じています。駅前道路拡張工事も行われていますが町が誕生した時に造るべきではなかったのかと思います。アベノミクスのおかげか分かりませんが日本全体的には景気は安定していますが地方はそれを感じることができていないのが現状であり、地方創生が叫ばれてもいます。これらをふまえると本町としては防災、観光により一層の力を入れる必要があると思います。町民が笑顔で安心したまちづくりをしていただきたいと思います。

編集後記

あつという間に一年が過ぎ、今期最後の発刊を迎えた。町の情報誌として、町民の皆さんに目を通してもらえる広報誌となっているか？ 常に自問自答しながら研鑽を重ね努力してきた。おかげで、県の広報コンクールで特選に上るまでになり、近年他町村から研修を受けるまでになった。しかし、それにおごることなく、日々怠ることがないこと、日々怠ることもありません。特に、新人議員にとっては議会人として成長する絶好の場でもある。

今年「申年」伸びる伸ばすという意味があり、町議会並びにあさぎり町が今年一年平穏でかつ益々発展する(伸びる)年であるよう祈念したい。

(久保田)

編集・発行責任者

議長 橋爪和彦

広報調査特別委員会

委員長 橋本誠
副委員長 皆越てる子
委員 久保田久男
奥田公人
森岡勉
小出高明



あさぎり町議会だよりはホームページでもご覧頂けます。